



新

—SHIN—

SapporoPhoto 2025

レポートブック Report

公募参加型写真展・こども写真教室2025 作品集

Open call exhibition & Children's seminar Photography Book



SapporoPhoto 2025

レポートブック Report

公募参加型写真展・こども写真教室2025 作品集

Open call exhibition & Children's seminar Photography Book

公募参加型写真展『新 -SHIN-』作品集 6...45

写真展『北海道 [青]の記憶 ～BLUE of HOKKAIDO～』 46・47

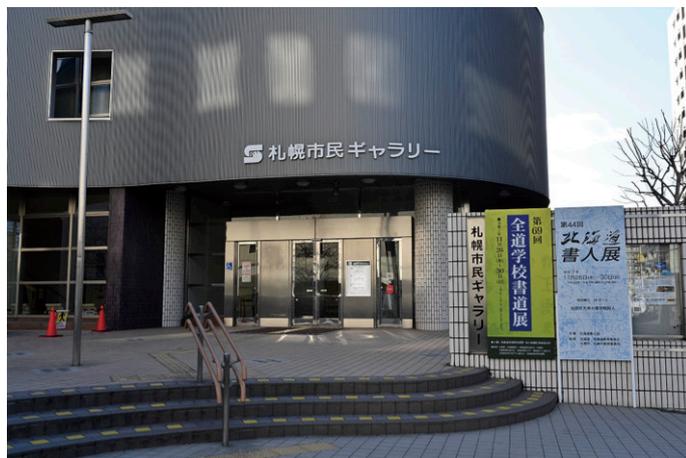
こども写真教室2025 作品集 48...67

開拓の当初より当時の最新技術であった写真を公式記録手段とし、写真家のみならず多くの市民の手で都市発展の姿が克明に記録・蓄積されてきた世界的にも稀有な大都市である札幌。その歴史と資産を現代・未来に活かすとともに、写真と何らかのつながりを持つ皆さまに幅広くご参加いただき、一緒に“日常の中で写真を楽しむこと”をテーマとする「写真の祭り」として2015年にスタートした[SapporoPhoto]は、これまで毎年秋～冬にかけて開催を続け、2025年の今回で11回目を迎えることができました。

[SapporoPhoto]では、2017年の第3回から公募参加型写真展を継続しています。私たちの毎日は、常にとこがが、何かが新しい。そして写真を撮れるのは今この瞬間しかありませんが、過去を感じるものからも、未来を予感させるものからも、新しい何かを感じて撮ることができます。今年はそんなあなたにとっての『新』をテーマに写真をお寄せいただきました。

そして、私たちが暮らす北海道の豊かな自然を「青」という切り口から多彩に表現した13名の写真家の作品をご覧ください。写真展『北海道 [青]の記憶 ～BLUE of HOKKAIDO～』を開催し、出展作家によるトークイベントも実施しました。また今年も『こども写真教室』を開催し、個性あふれる写真を楽しみながら創っていただくことができました。

[SapporoPhoto]は、昨年開催10周年を迎え、新たな10年へと一歩を踏み出しました。変わることのない趣旨と、常に新しいテーマを志向しながら地域の写真文化発展に寄与することをめざして継続してきた私たちの活動に今年もご参加くださった全ての皆さまに心からお礼を申し上げます。日々新しく、さらに変わり続けていく私たちの街、社会、世界、そして文化を、これからも一緒に、写真で記録し共有し続けていきたいと思ひます。





新

— SHIN —

Sapporo Photo 2025
公募参加型写真展

私たちの毎日は、「新」の連続だ。

朝起きてから夜眠るまで、私たちの毎日は常に新しい。
昨日と同じようにそこにあるものでも、今日の見え方、見方はきっと変わる。
どんなにAIが人間の思考を貪欲に学習していこうとも、その思考の素は人間から生まれている。今ここにいて、そこに見えるものが、私を毎日新しくしていく。
人も、ものも、街も、自然も。私たちの毎日は、「新」の連続だ。

写真を撮れるのは今この瞬間しかありませんが、過去を感じるものからも、未来を予感させるものからも、新しい何かを感じて撮ることができます。

あなたが最近始めた新しいこと、新しく見つけたもの、新しい何か……。「新」をテーマに、ひと・もの・こと・場所などをお一人お一人の視点で写真に撮っていただき、それをリアルとデジタルの場で展示し、作品集に収録して未来に伝えたいという呼びかけに、札幌／北海道のみならず道外を含め、40名の皆さまから写真をお寄せいただくことができました。

昨年10回目を迎えた[SapporoPhoto]は、2017年から、皆さまとご一緒に公募参加型写真展を続けています。私たちの身近なところから“いま”を見つめ記録し続けることは、小さいようで、きっと大きな、大事な意味を持っています。これからも、「写真を撮る楽しさ」「写真を発表する楽しさ」「写真を見る楽しさ」を皆さまと分かち合っていきたいと思えます。

●作品のタイトル/コメントは改行の修正、明らかな誤字修正を除いて原文のままとしています



JR北海道の「一日散歩きっぷ」でちょこっと遠くに出かけるようになりました。観光だったり所用だったり。

岩見沢駅では時間に余裕があったら、ばん馬の力強い姿を見て触れてください。

ノース (札幌市/60代/パート)

中野 愛



「新人カメラマン」



新感覚の月
中秋の名月の次の満月
二重窓の月

高橋由幸 (40代)

スタジオデビュー



三上和仁 (札幌市/60代)



北海道には遅い春が来て、新年度を迎えた。
冬から春を迎え季節が融合する時期だ。
新生活が始まった。
遠い家族を思い、心機一転、頑張ろうと思った。

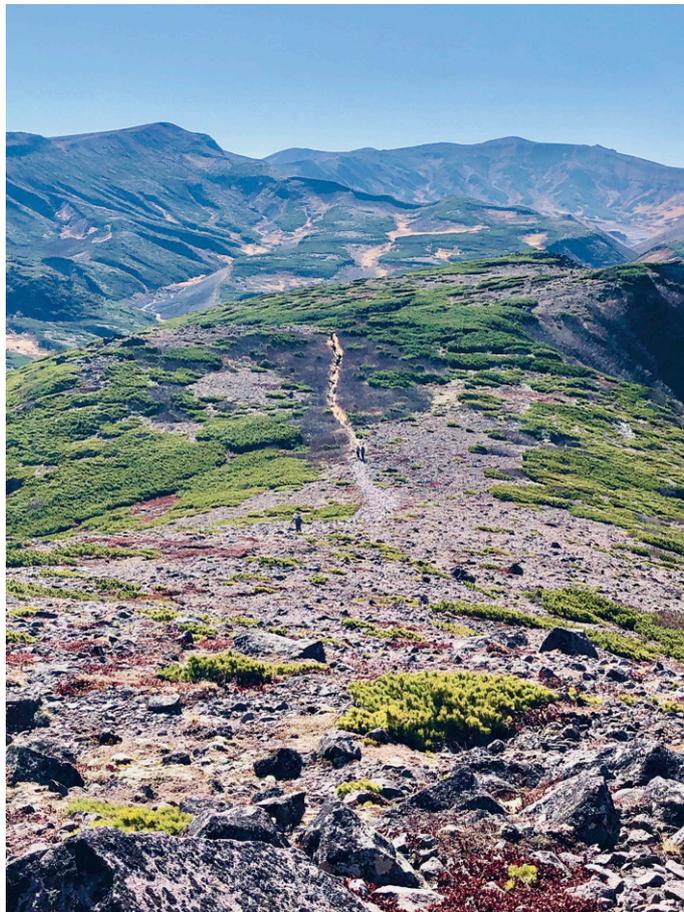
TaKa (伊達市/40代)

「新生活」

今年挑戦した大雪山黒岳登山。

山頂で見た景色は今までに見たことのない素晴らしいものでした。

新しい挑戦、新しいもの、新しい発見は新鮮で感動しますね。



新しい景色

Sugisan (50代)



片道3時間登った人だけがみれる風景

Cloudmaker (札幌市/60代)

「New Frontier 雨竜沼湿原」

2025年1月1日の朝は人もまばらな新千歳空港
の出発ロビーにいた。

札幌市内は大雪だったが、千歳は穏やかで無事
に目的地の福岡空港に向かうことができ、そこ
から1週間ほど九州各地を巡った。

新しい年に、自分にとって新しい場所に向かうと
いう始まりを感じるとともに、それを支えてくれ
る人々についても思いを馳せた。



伊藤 也寸志 (札幌市/40代/フォトグラファー)



「新」と言えば新幹線。札幌延伸まだかなあ

大高 稜平 (札幌市/30代)

娘に誘われて、今年から”新”に始めたマラソン。
まだ、半分（ハーフ）しか走れませんが、ベテランランナーの約半数は、ジョグ（練習）とレース（本番）でシューズを使い分けるらしいので、”New”シューズを2足購入！

『形から入る』もので…。

さあ、11月に道外初進出、結果は如何に!!



関根 進 (旭川市／50代／地方公務員)



2016年3月26日、北海道新幹線開業。新函館
北斗を出発する一番列車に乗って、線路でつな
がるいちばん遠く、鹿児島中央を目指した日。

らいちゃん (札幌市/30代/旅人)

「新幹線 新時代」

この春に長男が室蘭へ進学し、息子の新生活に合わせ引越や準備で室蘭市へ行く機会が増えました。

これまで縁がなかった室蘭市も行くたびに新たな発見があり、豊かな自然と産業が共存する街の魅力に訪れるのも楽しみになっています。

松崎 真也 (札幌市／50代)



「New Life」

新しい4PLA



2025年に新しい4PLAができました。窓に映る札幌PARCOは開業50周年。目の前を通る市電はループ化10周年。50年前と10年前の「新しい景色」の上に、また新しい景色が積み重なっていきます。

この写真を撮った日の気温は34°Cで、日傘をさす人も多く見られました。新しい札幌の夏の景色です。進化する生き物のような街を、これからも撮り続けたいです。

山内 琴未 (札幌市/30代)

札幌が新住居となって1年、新たな職場はこの道を真っ直ぐ行った先にある。

初出勤で多少の緊張感をもって見たこの交差点も、やがて見慣れた街角の風景となっていく。

もうすぐ雪が降り積もり、また新たな出会いがあるだろう。



しんくん (札幌市/60代)



先走る躍動感を光の連立で表現しました。

早朝に外の景色を見たときに、朝に感じる（新しい一日の始まり）やワクワクしている高揚感を（新）というテーマにかけて撮影しました。（新しい日常の高まり）や（新しい年の始まり）など、なにか新しい人や物への繋がりに期待すべく、同じ気持ちをもった方々と（新しい繋がり）ができるように、願いを込めた1枚の写真作品となりました。

柴田文恵 (札幌市/30代/アーティスト・写真家)

「きらめきの連立」

2025/9/14 恵庭はなふるの屋外広場で行われた音楽フェスを友人たちと観に行きました。
これは、ちょうど千綿偉功さんが「カサブタ」を唄っていらっしゃる時の一枚です。
青空のもと芝生の上で風に吹かれながら聴いた生の音楽はとても新鮮で、心地よい幸せに包まれました!

HISAKO (神奈川県)



「新鮮な心地よさ」



札幌の中心部で、古いものと新しいものの入れ
替わりを強く感じた一年。

近藤マリア ルイーザ明子 (札幌市)

「新陳代謝」

雪が降るかもしれないという天気予報を見て、さっそく撮影へ。

みぞれ混じりの雪が紅葉の上に降り積もって、冬の到来を告げていました。



久保田幸子 (札幌市/40代)

「新雪」

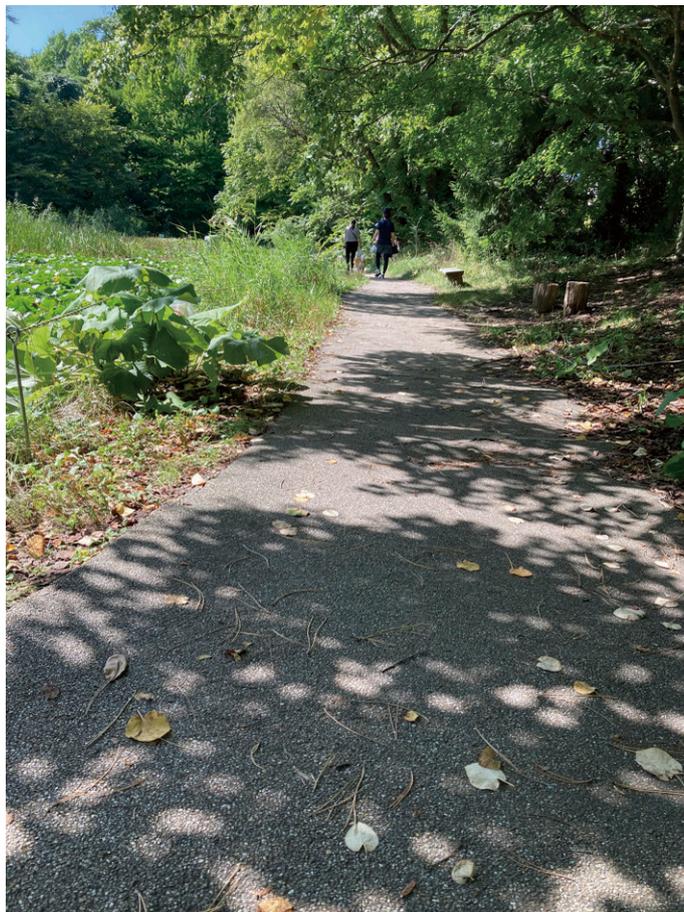


旭山動物園のかばさん。ぽっちゃりボディが好きです。大きい口も好きです。寝ている姿を新しく好きになりました。

SO (札幌市/～10代/小学生)

「新・のんびりカバさん」

3歳になったわたし。1人で歩いて、撮りたいもの
を見つけて撮るようになりました。この日は去年
までは怖くて乗れなかったストライダーに乗って
お出かけ。



REI (札幌市／～10代／保育園児)

新しいわたし



札幌の再開発で新しく生まれ変わった4PLA(札幌4丁目プレイス)。

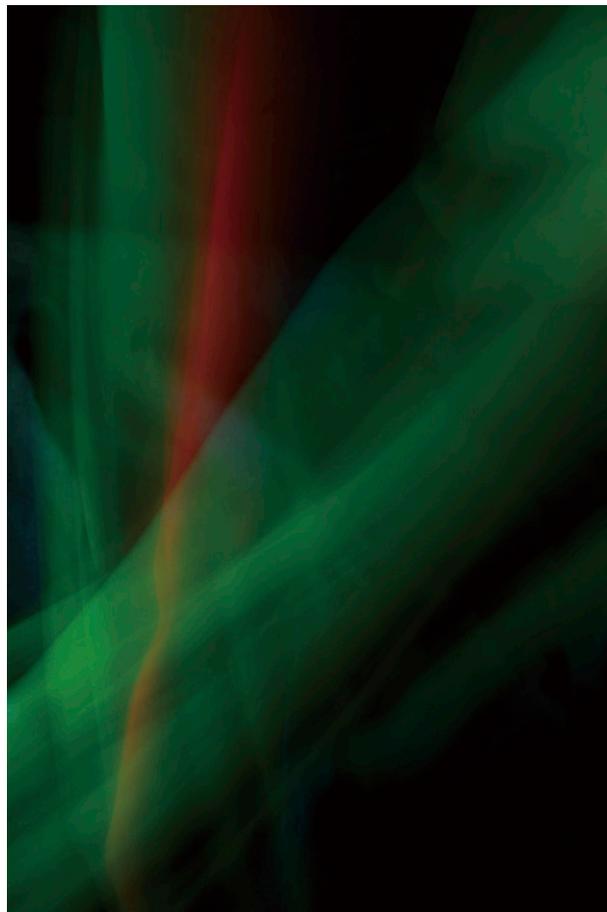
札幌の中心部を気軽に一望できる場所が新しくできたことは、夜景スポットが新しく増えたことに等しい。

様々な人が行き交う札幌の街の躍動を、この写真を観て感じていただけたら嬉しいです。

長谷川 文生 (札幌市/フリーランスフォトグラファー)

今年新しく購入した撮影機材。様々な写真を撮影でき、とても楽しい！フィルム時代に悪戦苦闘しながら撮影していた機材の進化版で、いとも簡単に撮影できるように。便利な時代になりましたね。

渡辺可緒理





新たな趣味が増えました。

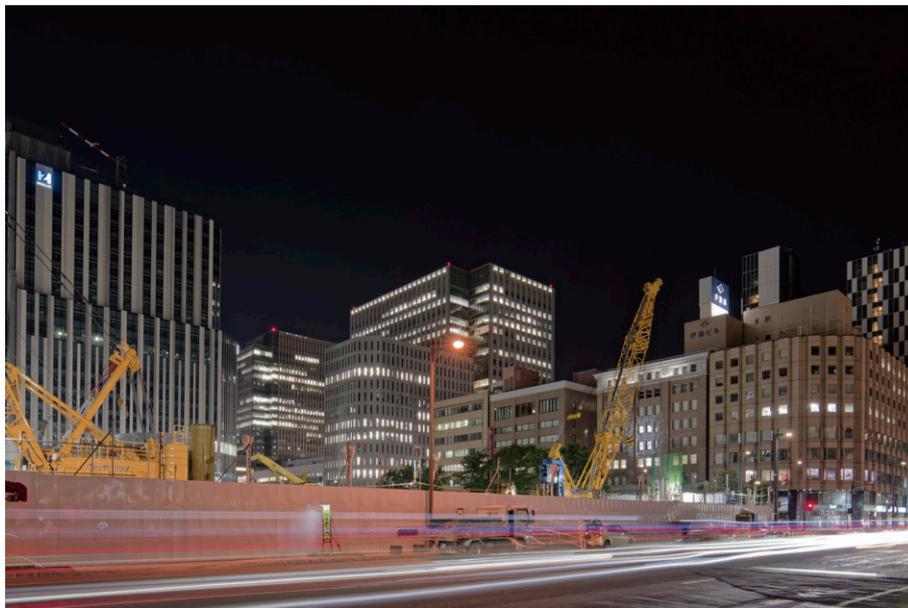
パンをこねるのが楽しくて、パン関連の動画が増え、レパートリーを少しずつ増やしています。

その日の室温や温度、こね方の上達加減によって全然パンの食感が変わってきて、生き物のよう。

今度はクリームパンやチョココロネにも挑戦したいな。

momomam (30代/会社員)

日々変わっていく札幌駅前の風景の一つ



なおゆき (札幌市/40代)

「新しい風景を作る」



自分が続けてきたことは何だったのだろうか……。そんなことをずっと考えていた一年。生きていればそういう時もあるよ、とはなかなか思えなかった。

夜が来ることを怖く感じた時も少なくなかったが、その向こうで空は必ず明ける。

晴天だけではないし、曇天に雨天荒天もある。まだ“夜明け”を実感はできていない。それでも、昨日ではない今日、新しい一日は、毎日必ずやってくる。

ウリュウ ユウキ

「それでも、新しい一日はやってくる」

夜明け前の余市海岸。

極限の静寂の中、空が濃い青から薄桃色へと変わる唯一無二の瞬間。奇岩えびす岩のシルエットの上に北斗七星の輝きを見つけ、この神聖な場所の幽玄の光を逃すまいとシャッターを切りました。夜と朝、海と空、時を刻む立ち枯れのような岩の姿に、一期一会の命の息吹を感じました。

真田和幸 (余市町/50代)





長かった冬が終わり、雪解けの大地の中から花を探し出すことができると、やっと新しい一年が始まるような気がします。春一番乗りをする花はいくつかありますが、今年はスノードロップスを見つけることができました。たくさんの生命が躍動する姿にたくさんの勇気をもらえる春が、私は大好きです。

松田 聡 (50代)

「新しい一年のはじまり」

新しく買ったフィルムカメラで撮った初めての海外。
暗すぎたり、ピントが合っていなかったりとても難しい
撮り直しできないことに必要以上に萎縮して使いきれず、帰ってからも街中を撮って記録して楽しかった
フィルムカメラはわたしにとっては新たな挑戦。

karin (20代)





浅井涼佑 (函館市／10代／小学生)

「函館本線の新たな列車」

これまで民間機ばかり撮ってきたのだが、今年4月に防衛モニターを委嘱されたことを契機に、自衛隊機の撮影にも力を入れるようになった。写真は、多用途ヘリコプター UH-1J 体験搭乗でのひとコマ (2025年11月2日撮影)



長谷川規夫 (札幌市/40代/写真家・団体職員・大学生)

「新境地」

新しいことと始めました



一緒にやると楽しいね
二人はライバル?
三日坊主にならないよう
四つに組んで続けよう!

ママ (母)

四季は巡れど新しい秋はまたやって来る。

晩秋の調べ



鈴木文隆 (60代/会社員)

新
恒例旅行



30年来の友人達と

初めての小旅行

子育てと仕事に追われる日々

年に1度

新しい楽しみを見つけた日

hahaの休日 (芽室町/40代/看護師)

女満別空港滑走路に面した、広大なひまわり畑。
満開の頃には、道内だけではなく、全国からたくさんの方が訪れ、思い思いの時間を過ごしています。今年、この場所に初めて行くことができましたが、最初は花が咲く前の緑のじゅうたんでした。
どうしてもこの景色が見たくて、ほぼ満開のタイミングで再びチャレンジ。私にとって今年1番の「新」です。

ぶかち (札幌市)





光より影が好きで、影のいろいろを見つけるとうれしくなる。

秋の夕方、行く手に自分の影がふたつ伸びていた。見たことのない、新しき影！ あれっと思い振り返ると、光源もふたつ。夕陽と、それを反射する高層住宅の窓ガラス。一歩進むと影はひとつになった。

一期一会が我が身を照らしてくれる。有り難きかな、人生。

國本昌秀 (札幌市/60代)

猫のいる暮らしの一コマ

布団の足元で飼い主の起床を待つ愛猫を写真に収めました



親子でパシヤリ!

中村 康二 (余市町/40代)



葉っぱに乗るトントンミー（ミナミトビハゼ）。新しいクローズアップレンズを使い、初めての西表島で、初めてライト照明で撮影した1枚。

平本 健太 (50代)

必要に迫られ購入したカメラ。
職業柄、何台ものカメラを数年おきに入れ替えているせいで新しいカメラに対して昔のように心が踊らなくなった。
時代もあり最近では静止画だけではなく動画の撮影もこなさなくてはいけない。
機材・スキルは勿論のこと、すべての情報について日々アップデートを迫られ、老化する外見とは裏腹に中身は毎日更新されている。

辻 博希 (帯広市/50代/自営業・会社役員)



「更新」



少し前から写真の授業の一部を担当させてもらっていたのですが、今年から定年などの関係で成績まで付ける立場に。満開の桜が迎える教室が新入生のような気持ちにさせる。

中村 健太 (札幌市/40代/藤女子大学非常勤講師)

間もなく開業10周年を迎える北海道新幹線。
深秋の紅葉の中を彩香パープルラインに身をま
とったH5系が青函トンネルを目指して進む。
残念ながら工事の進捗状況の影響で札幌駅延
伸までまだしばらくかかってしまうが、新しい札
幌駅を想像しながら首を長くして待ちたい。た
だその頃にはH5系に代わる新しい車両がお目
見えするはずだ。



衣斐 隆 (鉄道写真家)

「北海道新幹線H5系」

北海道 [青]の記憶

～BLUE of HOKKAIDO～

【出展者】

荒井英泰／上村孝幸／大塚友記憲／岸本日出雄／工藤裕之／今野博史／
佐藤琢真／辻博希／泊和幸／中村健太／西岡尚央／平賀和明／山田雅幸

(敬称略／五十音順)

青。それは、北海道の大地と空、海、湖、そして澄んだ空気を象徴する色。

北海道の四季を通して見える青には、それぞれ異なる表情がある。

「青・蒼・ブルー」を軸に北海道の自然の美しさや力強さを表現し、見る人の記憶として残すことをテーマに、[SapporoPhoto]を主催しているNPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク“THE NORTH FINDER”の会員写真家有志による展示を開催した。

撮影歴や題材として追いつけているものはそれぞれ異なるが、北海道に魅せられ、愛おしみ、そして畏敬を持って撮り続けるという想い、情熱が13名の作品に相通じるものとしてこの場所に集まった写真展となった。





トークイベント 11月29日(土)14:00~15:00

【ホスト】 辻博希

【ゲスト】 岸本日出雄／今野博史／佐藤琢真／平賀和明

【司会】 中村健太

(敬称略/五十音順)



【左から】中村・辻・岸本・今野・平賀・佐藤の各氏

私は写真を始めて3年目ですけれども、そのきっかけは3年前の[SapporoPhoto]を見に来て、それで風景の写真を撮ってみたいと思ったんです。(今野)

全道いろいろ行って撮っているんですが、7年前に初めて知床に行ったんですね。今は星を、天の川を撮っていますが、こんな暗いところ多分ないぐらい。(平賀)

去年(2024年)の12月に札幌で個展をやりました。友達と鶴居村に行って、夕方終わって泊まって次の日朝5時からまた日が暮れるまで撮影。1年に1回しか行けない。実は9回通って、なんとか写真展ができたんです。(岸本)



美瑛は雪の日が多くて、なかなか晴れる日がなくて。元旦ぐらいじゃないと太陽が低くならなくて、ここまで長く影が伸びないんですね。それを狙って撮りました。(佐藤)

太陽が沈んだ後の残照が川面に映っています。実は北海道は薄暮の時間が長いんですね。太陽の沈む角度が緩やかで、その時間の中に北海道を象徴する鳥がいるという。(辻)

キャンプの帰り道に道路脇にすごく綺麗な青が見えると思って車を止めて撮った一枚です。名所って言われるところ以外でもなんか素敵な場所とか景色、そういう知られざる魅力を拾って紹介していきたいと思っています。(中村)

こども写真教室2025

2025年10月13日(月・祝)

ソニーストア 札幌／大通公園西3丁目周辺

●講師：阿部 裕輔・高橋 健介(写真家/NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク 会員)



創造都市・札幌の未来を担う子どもたちに、表現することのおもしろさを体感してほしい……。[SapporoPhoto]のテーマの一つ・次世代教育の一環として小・中学生の参加のもとに開催してきた「こども写真教室」を、今年も狸小路の複合ビル・moyuk SAPPOROにある「ソニーストア 札幌」の協力をいただいて実施した。

会場に集まった19名の参加者の中にはスマートフォン以外のカメラを触

るのが初めての人も。ここで一眼レフカメラに実際に触れて基本的な使い方のレクチャーを受けた後、大通公園に向かい撮影を行った。皆さんの感性とカメラの機能を存分に活かし撮影した中からお気に入りの一枚を参加者自身で選んでいただき、大型ディスプレイに投影して全員で鑑賞した。[SapporoPhoto 2025]本展で引き伸ばして展示した全作品を、お一人1ページずつご紹介する。

伊藤 大仁

いとう ひろと／小学4年生





遠藤 そら

えんどう そら/中学1年生

亀田谷 芽依

かめだや めい / 小学4年生





岸本 彩椰

きしもと さや / 中学1年生

栗城 優生

くりき ゆう/小学3年生





小針 有紗花

こばり あさか/小学5年生

品田 樹哉

しなだ たつや/小学6年生





瀬戸 渚

せと なぎさ / 小学5年生

田村 明理

たむら あかり／小学3年生





田村 聡仁

たむら あきと / 小学5年生

千葉 統真

ちばとうま／小学4年生





中野 萌

なかの もえ/小学4年生

中野 涼

なかの りょう / 中学1年生





前田 紗希

まえだ さき/小学6年生

宮野 志朗

みやの しろう / 小学4年生





村田 美緒

むらた みお/小学4年生

山下 大輝

やました だいき / 小学1年生



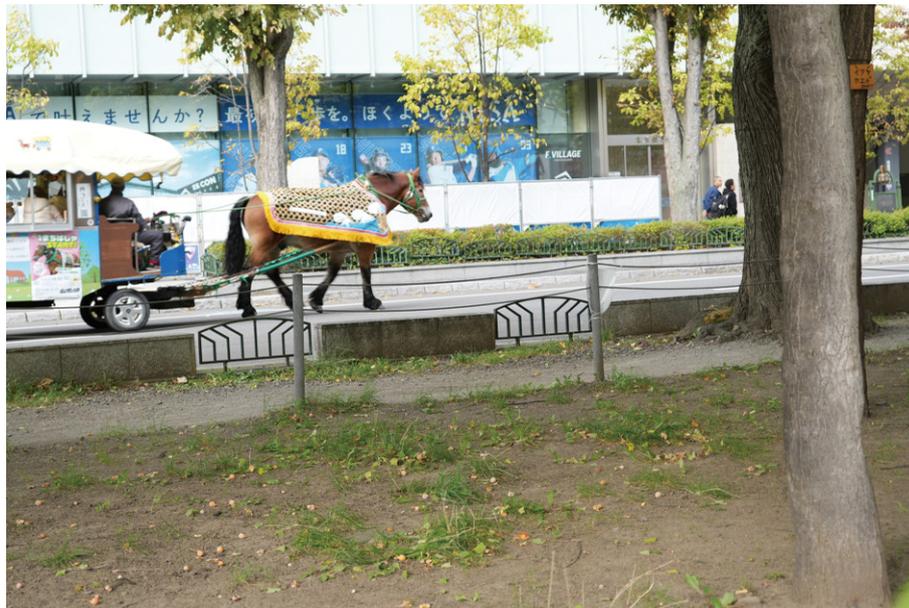


山下 茉那

やました まな/小学3年生

吉村 真博

よしむら まひろ/小学4年生



SapporoPhoto 2025 開催概要

■本展

2025年11月27日(木)～30日(日) 10:00～18:00 (初日は13:00より/最終日は17:00まで)

札幌市民ギャラリー 2階 予備展示室

札幌市中央区南2条東6丁目

■こども写真教室2025

2025年10月13日(月・祝)

ソニーストア 札幌

札幌市中央区南2条西3丁目 moyuk SAPPORO(モユク サッポロ)3階

■公募展ウェブ展示

2025年11月27日(木)～2026年3月31日(火)

[SapporoPhoto]公式ウェブサイト上

主催 NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク

協力 北陽イーベン株式会社

ソニーマーケティング株式会社 ソニーストア 札幌

助成 公募参加型写真展『新-SHIN-』・『こども写真教室2025』は、札幌市写真文化振興事業補助金を受け実施しました。

SapporoPhoto 2025 レポートブック／ 公募参加型写真展『新-SHIN-』・こども写真教室2025 作品集

発行人 中村健太

編集人 長谷川規夫

記録撮影 ウリュウ ユウキ・衣斐隆

デザイン ウリュウ ユウキ(ウリュウ ユウキ 制作室[madokara])

発行

THE NORTH FINDER

NPO法人 北海道を発信する写真家ネットワーク

060-0807 札幌市北区北7条西1丁目1-2 SE札幌ビル13階 (株)イメージナビ

<https://northfinder.jp/> info@northfinder.jp

[SapporoPhoto]公式ウェブサイト <https://sapporophoto.northfinder.jp/>

印刷所 株式会社グラフィック

2026年3月発行

本誌掲載の作品写真の著作権は、各撮影者にあります。

本誌内容の無断転載をお断りいたします。

© 2025-2026

THE NORTH FINDERについて

NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク"THE NORTH FINDER"は、写真を通して広く北海道のイメージを高め、より深く北海道を知ってもらおうと、北海道をベースに活動する写真家有志が中心となって設立したNPO法人です。

会員による写真展の開催や、企業との連携を通じた発信のほか、写真教育や写真資産の活用、市民の皆さんにご参加いただくイベントなどの各種事業を通じて、広く写真文化発展へ貢献することを目指して活動しています。

あたたかご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

弊法人に関する詳しい情報は法人公式ウェブサイトでご確認ください。 <https://northfinder.jp/>



2025

